

和歌山電鐵 2270系 おもちゃ電車

共通組み立て説明書

警告

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息などの危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ランナー上のパーツは、機能上、尖っていますので危険です。
- ランナー上のパーツは、機能上、縁部(エッジ)が鋭くなっていますので危険です。

注意

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ベースメーカーをご使用の方は、マグネットカプラー(連結器)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカプラー(連結器の部品)は磁行を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起る場合があります。

組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気を付けて組み立ててください。
- ステッカーは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

【お買い上げのお客様へ】不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 バンダイ お客様相談センター
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル **0570-041-101**

● 受付時間 10時～17時(祝日、夏季・冬季休業日を除く)
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

《商品・修理品送付先》 バンダイ 栃木修理・配送センター

〒321-0298 栃木県下野郡壬生町おもちゃのまち5-4-67

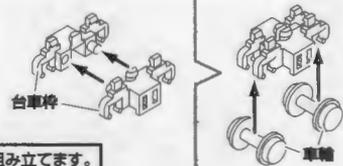
● 営業時間 10時～17時(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客相談センター共通

シャーシの組立て

1 〈台車の組立〉

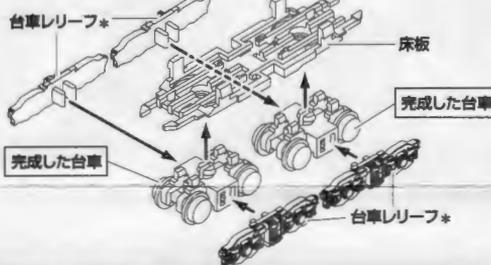
● 台車枠と台車枠を合わせて、車輪を取り付けます。

● 前・後2組の台車を、それぞれ組み立てます。



2 〈シャーシの完成〉

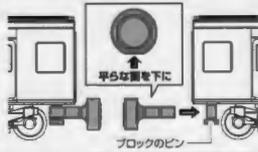
● 出来上がった台車の5箇所のツメを床板に通します。
● 台車レリーフを取り付けます。



台車レリーフの向きに注意。



カプラーの取付け方



- マグネットカプラー
● 磁石で連結・開放ができます。(磁性(S-N)があるので、連結する向きに注意してください。)
- ドローバー
● 2両を固定連結します。
- ダミーカプラー
(先頭車正面などに使用します。連結はできません。)
- 磁石連結器 (JFR電圧ほか)
- 自動連結器 (既製・既成車軸ほか)

Nゲージ化用パーツの取り付け方法

● トレインショーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

● 各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビショップなどでお買い求めください。

① 機関車への動力ユニットの取り付け

● 「トレインショーティ専用・動力ユニット①」-機関車用」を使用します。

通常色(黒)と、グレーがあります。

● 床板前後の穴と、左右2箇所の爪で、車体と固定します。



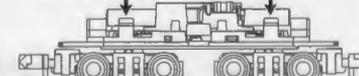
- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- スノプロウは着脱可能です。(カプラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)
- EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長いためカプラーの首振り量が充分にできません。直造運転や、細小カーブ、8カーブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

② 電車・気動車及び路面電車への動力ユニットの取り付け

● 「トレインショーティ専用・動力ユニット②」-電車・気動車用」

もしくは「両動力ユニット③」-路面電車用」を使用します。

● 左右4箇所の爪で、車体と固定します。
● ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。



- ※イラストは「動力ユニット②」-電車・気動車用」です。「動力ユニット③」-路面電車用」には前後のカプラーはありません。
- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。(追加ウェイトは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

③ トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

● 「トレインショーティ専用・走行台車④」を使用します。

- 台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピン穴に装着してください。取り付けがゆるい場合には、走行台車の取り付けピンを広げて調整してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- 旧タイプ床板では、台車の回転止めピンが当たります。また、初代床板ではカプラー台座と車輪止めピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

- ※台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- ※スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカプラー部分を切り取ってから装着してください。
- ※新幹線など車体側にカーブのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

- ※SHGフレームでは、Nゲージ化する場合はブロックパーツのうちカプラーを取り付ける「ピンなし」を使用します。
- ※先頭車にスカートとダミーカプラーを付ける場合では、ブロックパーツは「ピンあり」を使用して、走行台車のカプラー部分を切り取ってください。

■ KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

- ①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください) ● EF64a, DF50, DD53など
- 品番11-103 ポケットライン用動力ユニット ● 裾の低い車両に装着できません。

● 11-103は、購入時にはカプラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ 通勤電車① コイルバネ台車タイプ DT33タイプ 103系など
- 品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ 急行電車① 空気バネ台車タイプ DT32タイプ 165系、485系など
- 品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ 通勤電車② ボルスタレス台車タイプ DT81タイプ E231系など
- 品番11-104 チビ客車用動力ユニット

● ※「チビ客車用動力ユニット」は、手すりを切り取って装着します。(車両によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
- 品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
- 品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

このほか、割りピン取り付け方式の、各社台車を取り付けることができます。

■ パンタグラフの交換

- お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。
- KATO: 11-401 PS14: 直造パンタグラフ グリーンマックス: 80-2: PS13: 直造パンタグラフ
- KATO: 11-403 PS22: 直造・下伸変形パンタグラフ グリーンマックス: 80-3: PT42: 直造パンタグラフ
- KATO: 11-404, 11-420 PS16: 直造パンタグラフ グリーンマックス: 80-5: PT43: 直造パンタグラフ
- ※11-420は、車輪穴が4個の車輻に対応します。 クロスポイント: PT71C: シングルアーム・パンタグラフ

このほか、取り付けピンが2方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。

- 各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが違い(緩い)場合もありますので、それぞれ調整のうえ取り付けください。また、パーツによっては加工が必要なものもあります。
- 動力ユニットの装着には、車両によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。前面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なります。また、生産の都合上余剰パーツが含まれている場合がありますので、予めご了承ください。

車体の組立て

①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。

*ブロックの上下の向きに注意して、パテンと奥まではめ込んでください。



②屋根を取り付けます。

(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)

③妻板を取り付けます。

(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)

④左右の側面を取り付けます。

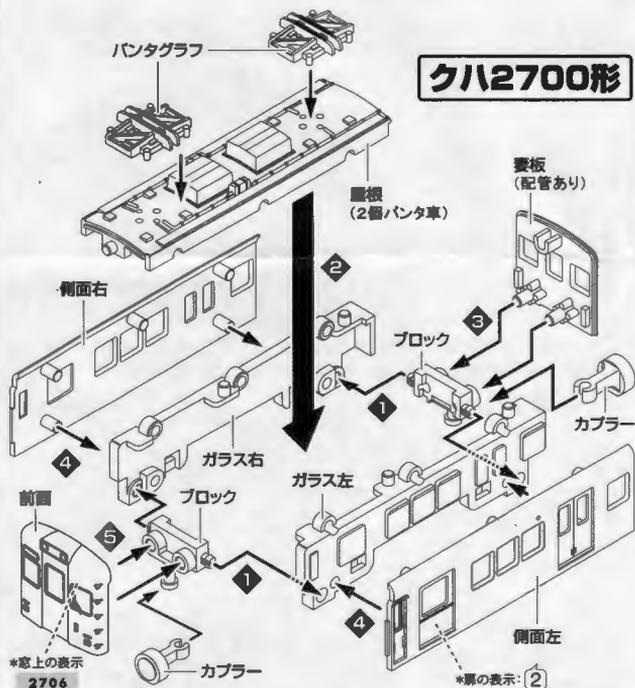
⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。
(中間車は完成です。)

⑥先頭車は前面を取り付けて完成です。

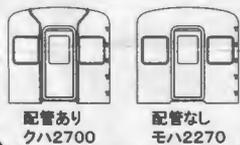
(スカート付きの車両は、先にスカート在前面に取り付けます。)

⑦カプラーを最後にブロックのピンに取り付けます。

クハ2700形

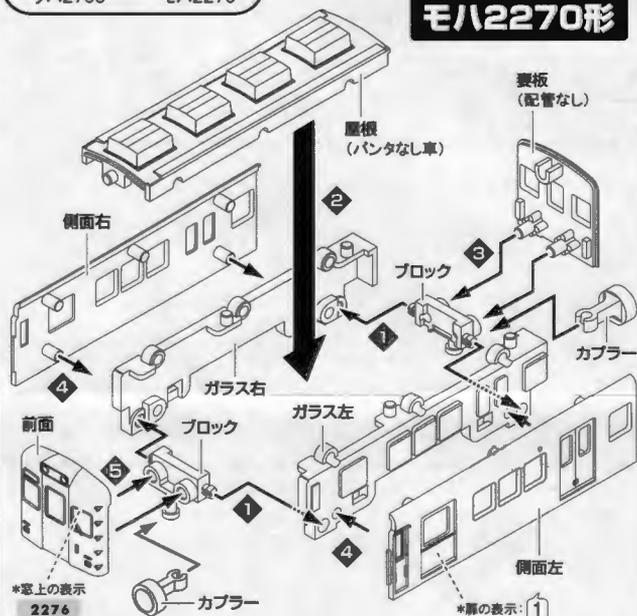


妻板の組み合わせ



本商品は製造工程上、あらかじめ側面パーツとガラスパーツを合わせた状態で封入されています。

モハ2270形

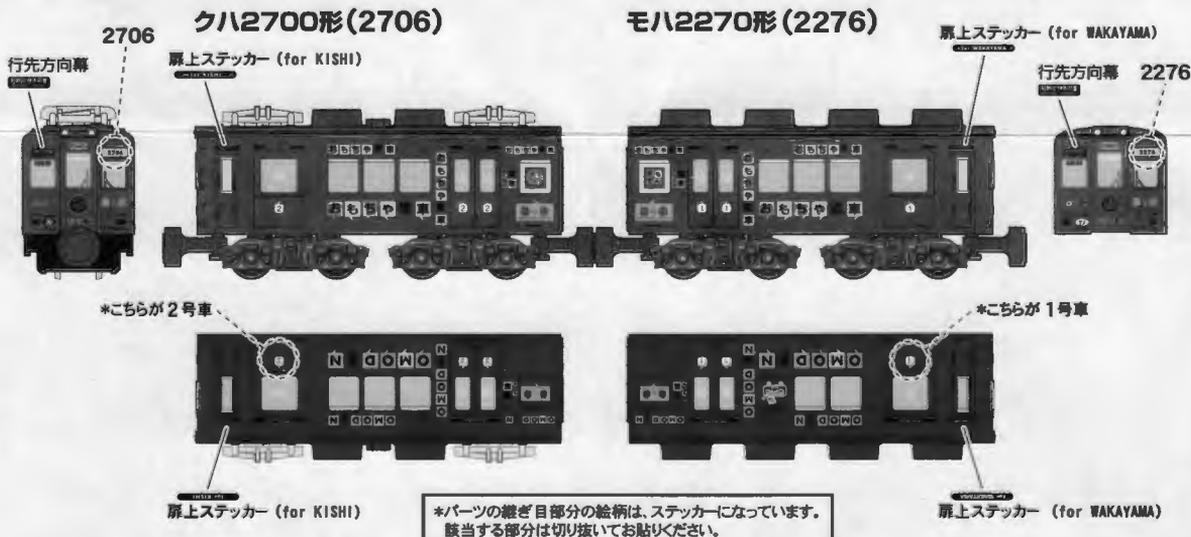


和歌山電線 2270系

← 貫志	クハ 2700形	モハ 2270形	和歌山 →
	2701	2271	いちご電車
	2702	2272	
	2703	2273	
	2704	2274	
	2705	2275	たま電車
	2706	2276	おもちゃ電車

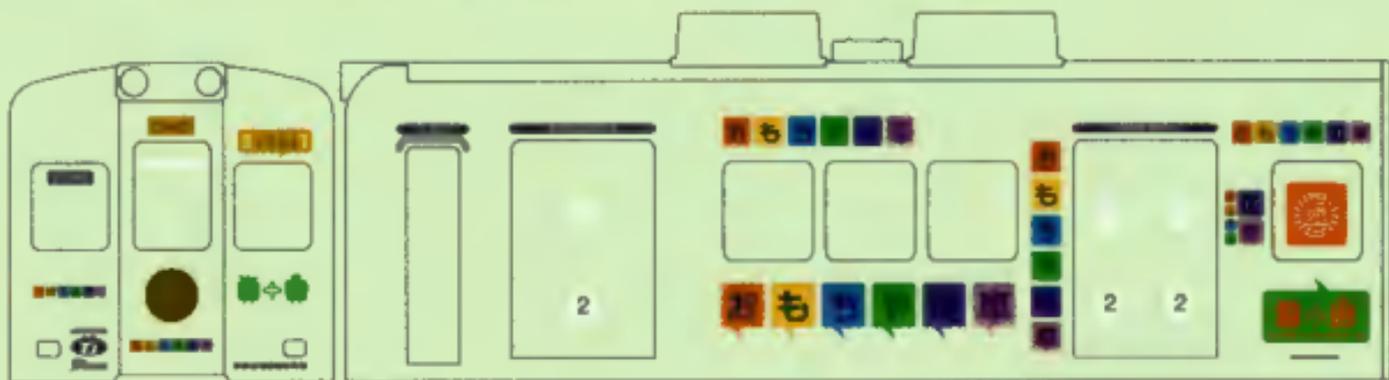
ステッカーの貼付け位置

*貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。
商品の仕様により、画像と一部形状が多少異なる場合がございますのでご了承ください。
(刃物のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものはお好みの位置にお貼りください。)



*パーツの継ぎ目部分の絵柄は、ステッカーになっています。該当する部分は切り抜いてお貼りください。

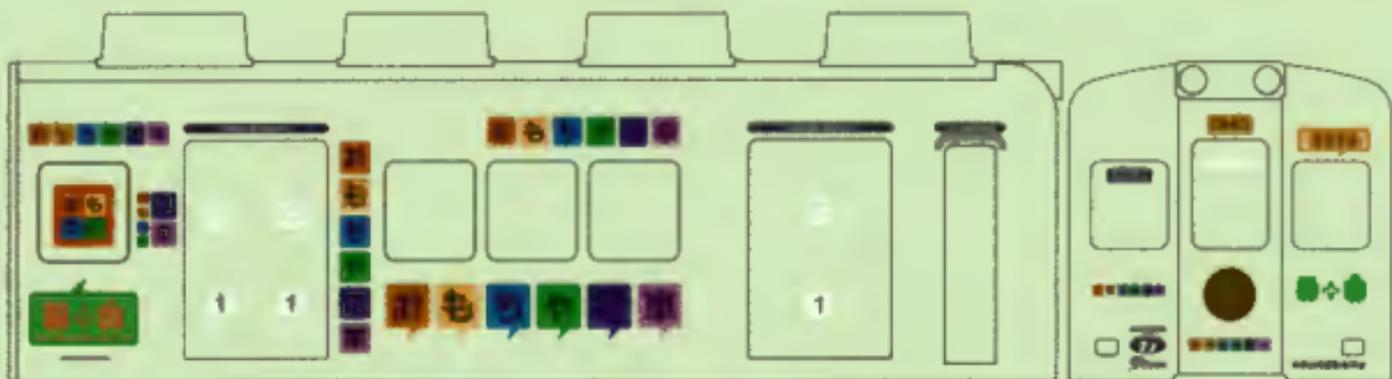
2270系・おもちゃ電車



方向幕 (旧タイプ)

上野線	山手線	有楽町線
丸の内線	有楽町線	丸の内線
丸の内線	丸の内線	丸の内線
丸の内線	丸の内線	丸の内線
丸の内線	丸の内線	丸の内線





方向幕 (新タイプ)



(2013年1月より)